

○「みんなの食堂」の運営

事業実施主体:青森県

- 近年、高齢者単身世帯や共働き家庭の増加、勤務形態や就労時間の多様化などを背景に「孤食」が増加し、個人や家庭だけでは望ましい食生活の実践が困難になってきている。
- このため青森県では、地域の子どもから高齢者まで幅広い世代が、食事を共にしながら食育に取り組む「みんなの食堂」を業務委託により開設・運営し、孤食の防止や食育の効果を実証した。
- また、県内の産地直売施設等における規格外品等の未利用農林水産物の発生実態を把握するとともに、「共食の場」における食材としての利用可能性を探るため、調査を実施した。



【取組の内容】

- 地域住民を対象に、月1～2回程度、食事提供や調理体験、食育講座等を行う「みんなの食堂」を業務委託により開設・運営。

実施主体 (実施地区)	実施概要	開催 回数	延べ参 加者数
青森中央短期大学 (青森市横内地区)	教員が講師となり、食育講話と調理・食事会を実施	12回	327名
桜川食育教室いただきます！ (青森市桜川地区)	地域住民や生産者等の協力を得て、食育講座、調理、農業体験活動を実施	10回	367名
あおもり食命人ネットワーク (十和田市、東北町、八戸市)	各地区で活動する「あおもり食命人」が、地域の食材を使い、調理講座と食事提供を実施	11回	307名

- 直売施設等における「未利用農産物発生状況等調査」を実施。

【調査先】

産地直売施設19箇所、子ども食堂7箇所、フードバンク2箇所

【取組の成果】

- 「みんなの食堂」をモデル的に運営し、共食の場の提供による効果を実証することで、民間団体等の自主的な取組を促すとともに、活動の広がりによって、共食の機会の増加や、食育の場の拡大につながった。
- 「未利用農産物発生状況等調査」の実施により、未利用農産物の共食の場での利用可能性が検証されるとともに、産地直売所、子ども食堂等それぞれにおける具体的な課題が明らかになった。

＜みんなの食堂＞
あおもり食命人ネットワーク



調理講座



食事の様子



地元の野菜たっぷりカレー